

病院リネンの未来を考える



ホスピタルリネン倶楽部ニュース

相談ダイヤル 03-6903-7630で質問、ご注文を受け付けています。(月～金、10am～5pm)

第108号 発行日2012年
7月10日

発行：アブソーププラス日本/K.K.Jcommunications/Switch board K.K./
170-0004 東京都豊島区北大塚2-19-2 TEL03-6903-7630 FAX03-6903-6821

ホームページ：
<http://absorb-plusjapan.com>

診療報酬・介護報酬ダブル改定による影響はいかに！

いつもお世話になっております、アブソーププラス日本の五十嵐です。今年はオリンピックイヤーです。ロンドンでは多くの人が準備に励んでいるのではないのでしょうか？また選手の方々もこの時のために練習をされコンディショニングされていると思います。

前回の、南アフリカでのワールドカップの時もそうでしたが、アブソーププラスのニットシャツは今回のロンドンオリンピックでは多くのホテルから問い合わせが来て、高級ホテルからロンドン市内のビジネスホテル、シティホテルで利用されるようです。一度、体験された方はわかりますが、アブソーププラスのニットシャツは、ベッドメイキングが便利なのは勿論ですが、何度もの洗濯後でも肌触りが良く、非常に暖かい感触があります。試されたことのない方は世界で評判の肌触りを一度体験してください。

宣伝はこの位にしまして、診療報酬・介護召集2012年のダブル改定が行われました。今回の改定は2025年の医療のイメージを見据えつつ「医療介護の将来像の提示」、「地域包括ケアシステム」でした。主な重点課題は、①医療従事者の負担軽減②医療介護の役割分担と、連携強化、在宅医療の充実でした。

この中で、ホスピタルリネン業界に大きく関係してくると思われることがあります。まず、①特定除外制度の廃止ではないでしょうか？これまで90日を超えて入院する患者についてもこの制度のお蔭で出来高算定できていたことができなく

なります。つまり大幅な減収となり、病院の収益が厳しくなっていきます。また、亜急性期の入院管理料は引き下げになりました。一方で、緩和ケアについては、緩和ケア加算、看取り加算が新設されました。これによって、在宅支援診療所には、多くのメリットが出てくるようになりました。

つまり、方向としては、国家の社会保障費として多大な出費がかかる病院の病床はできる限り減らそうという方向性は強化されました。一方で、高齢化はとどまることなく進んでいます。その患者や高齢者の受け皿として、在宅支援診療所、有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅などがその中心的役割を果たして欲しいということがここでわかることです。そのような意味を考えても、今後、病院や、老健施設への営業だけに頼るスタイルは見直す時期に来ているのかもしれない。このような改正やインフラの変更が起きるときは表面には見えにくいですが、気づいた時には取り残されていたということが起きないように、水面下で十分な準備を整えて営業・マーケティングの手を打っておく必要があるようです。弊社でも、現在、リネンの問い合わせのあった病院・施設様を紹介するユーザー紹介制度を行っております。是日、一度、お問い合わせください。

アブソーププラス日本 五十嵐
03-6903-7630
(月～金、午前9～午後5時)

目次

診療報酬・介護報酬改定



オリジナル商品企画相談会のお知らせ

エアマット対応ニット製フィットシャツが開発されました。

▼ アブソーププラスオリジナル商品企画相談会のお知らせ：

アブソーププラスでは、貴社にとっての差別化戦略としてオリジナル企画商品の提案を行ってまいります。

今や、病院・高齢者施設も差別化の時代です。それに合わせて、リネンサプライ業界も変容を迫られています。医療施設の担い手は、殆どが女性です。女性の感性に訴えかける商品企画、看護・介護する人の目線に立った商品開発を続けて35年の実績を持つアブソーププラスにお任せください。専任担当が、貴社或いは、出張先に伺い、まずは、個別相談から始めさせていただきます。

直通ダイヤル
03-6903-7630
(月～金、am10～pm5)